

一般社団法人日本気象予報士会

第10期定時社員総会案内

1. 日 時 令和元年6月22日(土)(受付開始10:20)

(1) 気象記念講演 11:00 ~ 12:00

演題:「数値予測技術の現状と今後の改善計画」

(2) 社員総会 13:00 ~ 17:00

(3) 懇親会 17:30 ~ 19:30

2. 会 場

- ・気象記念講演、社員総会: 気象庁講堂(東京都千代田区大手町1丁目3-4)
- ・懇親会: トラットリア ラ・ベルデ 大手町店

3. 参加費

- ・気象記念講演、社員総会: 無 料
- ・懇親会: 事前振込 6,000 円(振込先下記参照)
: 当日現金 7,000 円(受付で支払)
(極力、事前振込でお願い致します)

4. 社員総会について

社員総会には、会員であれば、何方でも出席することが出来、発言することが可能です。しかしながら、社員総会で議決権(議案提案権含む)を持つ会員は、社員会員です。一般会員から社員会員に変更することは、いつでも可能ですが、第10期定時社員総会の定足数は、令和元年6月15日(土)時点の社員会員の登録者数を以って確定しますので、会員種別を変更する場合は、それまでに、会員情報管理ページまたはメール(jimu@yoho.jp)、郵送(6月14日(金)必着、書式はフリー)にて、会員種類をご連絡ください。

5. 出欠届および社員総会委任状の提出のお願い

気象記念講演、社員総会、懇親会への出欠について、6月16日(日)までに会員情報管理ページ(URL:<https://center.camj.jp:8080/>)からご提出をお願いいたします。

総会議長以外の代理人選任の際は、代理人となる方の同意が必要です。

会員情報管理ページを利用できない方は、6月14日(金)必着でてんきすと118号に同封の郵送用出欠届にてご提出ください。(※会員情報管理ページより提出する場合は、郵送での返信は不要です)

6. その他の連絡事項

(1) 会員証: 会員証を必ずご持参下さい。

(2) 名札: 全員に名札を装着していただきます。名札ケースを用意しますので、会員証またはCAMJの名刺を入れてご使用下さい。会員証、名刺をお持ちでない方のために、名札用紙(白紙)を用意します。セキュリティの関係で、気象庁に入庁する際は事前届けが必要のため、当日参加はお断りいたします。

(3) 座席: 机席は寡少で、多くは椅子席となります。バインダーなどをご準備下さい。

(4) 食事: 会場付近には食堂、売店は多くはありません。弁当を準備される方の会場での喫食を、昼休みに限って可とします。ただし、ゴミはお持ち帰りいただきます。

(5) 懇親会費振込先: 三井住友銀行中野支店(普) 4284588 一般社団法人日本気象予報士会事務センター

★振り込み期限 6月19日(水)15時厳守 ※振込手数料はご負担願います。

※一度ご入金頂きました懇親会費の返金・キャンセルは致しかねますので、ご了承くださいませ。

(6) 会場案内:

気象庁講堂

東京メロ「竹橋駅」4番出口から徒歩1分

東京メロ・都営三田線「大手町駅」C2番出口から徒歩5分

JR「東京駅」丸の内北口出口から徒歩20分

懇親会会場

トラットリア ラ・ベルデ 大手町店

(千代田区大手町1-5-1 大手町ファーストスクエア B1、気象庁から徒歩10分)

【気象記念講演】

「数値予測技術の現状と今後の改善計画」

【要旨】

気象庁は、自然災害や社会情勢の変化と科学技術の発展を踏まえ、「豪雨防災」「台風防災」「社会経済活動への貢献」「温暖化への適応策」の4項目について技術開発の目標を掲げています。

またそれらの実現のために、技術的な課題と技術開発の方向性を整理するとともに、技術開発の柱となる項目と、それを推進していくための方策や指針をまとめています（「2030年に向けた数値予報技術開発重点計画」平成30年10月4日報道発表資料）。

この内容をふまえ、数値予測技術の現状とその改善に向けた技術開発の方策を解説します。

【講師】

気象庁予報部数値予報課長 室井 ちあし 氏

<プロフィール>

- 1990年4月 気象庁に入庁、札幌管区气象台
- 1992年4月 気象庁予報部数値予報課
- 2001年4月 気象研究所予報研究部第一研究室
- 2006年10月 気象庁予報部数値予報課予報官
- 2010年4月 気象庁予報部数値予報課数値予報班長
- 2014年4月 札幌管区气象台気象防災部長
- 2016年3月 気象庁予報部予報課アジア太平洋気象防災センター所長
- 2018年4月 現職

